

先っちょ志摩に生きる

志摩町越賀で保存されてきた「越賀村絵図」(志摩市教育委員会蔵)

志摩町和具漁港の早朝の風景

期間 2017年9月30日(土)～12月3日(日)

開催時間 午前9時～午後5時(土・日・祝は午後7時まで)

休館日 10月2日(月)、10日(火)、16日(月)、23日(月)、30日(月)
11月6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)

[主催]三重県総合博物館・三重大学 [共催]志摩市教育委員会 [後援]三重県博物館協会
[協力]船の科学館「海の学びミュージアムサポート」



三重県総合博物館と三重大学は、平成26年度から28年度までの3年間、先志摩半島(志摩市志摩町)で総合的な共同研究を行ってきました。本展では、その研究成果にもとづき、先志摩の自然と歴史・文化の魅力をご紹介します。まず、江戸時代の越賀村の空間構造を端緒として、過去と現在の景観の移り変わりをご覧いただきます。また、当地域で盛んなイセエビ漁に焦点を当て、漁で用いられる道具や動画、イセエビの成長過程がわかる資料などを通して、海の恵みを得るために助け合う漁村の暮らしを紹介します。



志摩町越賀から熊野灘を望む



御座の海女



網からイセエビを外す



イセエビの成長過程



国の登録有形民俗文化財
「志摩半島の生産用具及び関連資料」
(志摩市蔵)※一部の資料を展示します

同時期開催

第17回企画展
愛蔵された日本列島2017

2017年9月30日(土)～11月5日(日)

第18回企画展
オリンピック・パラリンピック 栄光の軌跡
～後援官記念スポーツ博物館三重地区展～

2017年11月18日(土)～2018年1月14日(日)

関連行事



＊講演会

「超音波バイオテレメトリーによる
イセエビの行動追跡の試み」

日 時: 11月5日(日)
午後7時30分から午後3時
講 師: 荒井 修亮氏(京都大学フィールド科学教育研究センター
海洋生態系部門 教授)
場 所: 三重県総合博物館 レクチャールーム
定 員: 80名
対 象: 小学生以上
参加費: 無料 申込み: 10月15日(日)必着



＊講演会

「イセエビを育てる-ふ化幼生の飼育から
国内初の人工稚エビ放流まで-」

日 時: 11月11日(土)
午後7時30分から午後3時
講 師: 土橋 靖史氏(三重県水産研究所 主幹研究員)
場 所: 三重県総合博物館 レクチャールーム
定 員: 80名
対 象: 小学生以上
参加費: 無料 申込み: 10月21日(土)必着

申込み方法

下記のいずれかの方法でお申込みください。
応募方法: 往復はがき(必着)または電子申請
※電子申請は、当館ホームページのイベント案内よりお申込みください。

アドレス <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/84927046739.htm>



なお、右記のQRコードからもアクセスできます。

※1通の申込みで最大4名様までです。
ご希望の講演会のタイトル、代表者の氏名、年齢、住所、当日連絡が取れる電話番号および参加者全員の氏名、年齢を記入してご応募ください。応募者多数の場合、抽選となりますので予めご了承ください。締切日から1週間をめどにご連絡します。なお、電子申請の場合、申込み後に届く到達確認メールは、当選の通知ではありませんのでご注意ください。

※席に余裕がある場合には、締め切り後も参加を受け付けます。お気軽に当館までお問合せください。

申込み・問合せ先

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田3060
三重県総合博物館 TEL 059-228-2283

＊ギャラリートーク「越賀村絵図を読み解く」

①日 時: 10月1日(日)午前11時から、午後2時から
講 師: 菅原 洋一(三重大学教授)、当館学芸員
②日 時: 10月15日(日)午後2時から
講 師: 塚本 明(三重大学教授)、
小川 益司氏(志摩町越賀出身)、当館学芸員
☆場所は両日とも三重県総合博物館 交流展示室
☆参加無料。当日、直接会場へお越しください。

＊ワークシートでたんけんしよう! 志摩の海

日 時: 10月8日(日)、11月26日(日)
両日とも午前11時から、午後2時から
場 所: 三重県総合博物館 交流展示室
対 象: 高校生以下
☆参加無料。当日、直接会場へお越しください。

